



We Secure the Internet. UserAuthority

UserAuthority

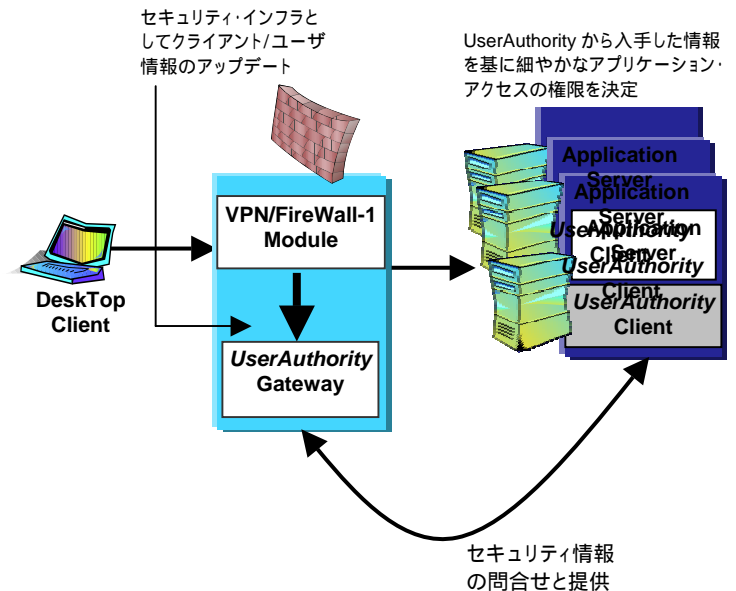
高い次元でのアプリケーション・セキュリティの必要性と課題

e-ビジネス・モデルの成功は、優れたセキュリティ・インフラストラクチャの導入が不可欠であることに加え、この環境におけるすべての要素、すなわちアプリケーションも含めたセキュリティの確立が求められます。現状のアプリケーションにおけるセキュリティ機能は比較的乏しいもので多くの課題を持っています。

- パスワードが主な判断基準とされており、クライアントのロケーションや通信の機密性の度合い(暗号化されているかどうか)などの条件を欠いたセキュリティが一般的です。しかし、インターネットを利用するボーダレスな e-ビジネス環境で最大限の生産性を得るためには、アプリケーション自身がこれらを考慮するような高いセキュリティが必要とされます。
- セキュリティの判断条件を増やす場合、必要となる情報を収集するための手順をアプリケーションごとに実装することとなり、本来の機能に加え多くの開発ノウハウおよびステップが必要となります。特に、インターネットを経由したクライアントから、ローカルネットにあるアプリケーション・サーバへのアクセスを想定した時、ローカルネットへ入る時点でアドレス変換が実施されている場合や、サーバに届くトラフィックがインターネット上を”生”のデータとして届いたのか、VPN によってゲートウェイまで安全なチャネルで届いたのか、などの情報を収集するためには、さらに大きな開発労力が必要となります。
- e-ビジネスのシステムとしては、複数のアプリケーション間での連携やユーザが複数のアプリケーションを利用することは一般的です。この時、それぞれのアプリケーションが、独自にセキュリティ機能を実装したり、ユーザに対して複数回の認証を要求する場合など、複雑なシステムと利用環境は運用面においてセキュリティを低下することにつながります。

SVN アーキテクチャによるアプリケーション・レベルのセキュリティの実装

チェック・ポイントのセキュア・バーチャル・ネットワーク・アーキテクチャ(SVN)は、インターネット、イントラネットおよびエクストラネットに存在するネットワーク、システム、ユーザ、およびアプリケーションすべての要素に対するセキュリティを強化しエンドツーエンドで信頼関係とサービスネットワーク全体のセキュリティの確立を実現します。アプリケーション・レベルのセキュリティについては、UserAuthority 機能によってこれを拡張します。



UserAuthorityを含むすべてのチェック・ポイント製品は、セキュア・バーチャル・ネットワーク(SVN)アーキテクチャに基づいて構成されており、インターネット、イントラネット、エクストラネットの環境全体で、ユーザ、ネットワーク、システム、アプリケーションの安全かつシームレスな接続性を提供しています。



チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
〒1600022 東京都新宿区新宿 5-5-3 建成新宿ビル6F
<http://www.checkpoint.co.jp/> Email: info@checkpoint.co.jp